

広報

まっだい

1987/

3月

■発行 新潟県松代町役場総務課 電話 松代7-2220番 昭和62年3月19日

第328号



ぶなの若葉におおわれて
 光りかがようわが郷土
 ここに瞳もはればれと
 学びの道を進みゆく
 われらが松代中学の
 抱負よ花と咲き香れ

《人口の動き》 男2,887(-6) 女2,926(-6) 計5,813(-12) 世帯数1,630(-3)
 3月1日現在 出生2 死亡5 転入1 転出10

昭和61年の衛生状況 ②



保健体力シリーズ ②4

「しょっぺがーは 血圧にわるいってやーども オラア好きだんがね」
成人病予防教室 人形劇「部落目標やってるかい！」 田野倉公民館

前回は、死亡原因、胃、婦人科検診受診状況をお知らせしましたので、今回は、まず乳がん検診についてお知らせしましょう。

昨年11月、三日間にわたり総合体育館で、乳がん検診を行いました。受診者は227人、結果は表1のとおりです。がんの人は

いませんでした。乳がん検診は昨年はじめての試みでしたので、希望は婦人科検診を受けた人に限ってとらせていただきました。今年は、5月と11月に予定しています。婦人科検診と同様、30才以上の女性全員に希望をとりたいたいと思います。

(表1) 乳がん検診

受診者	277	
	数	%
異常なし	225	81.2
乳腺症	48	17.3
せんい腺腫	3	1.1
その他	1	0.4
要観察	32 (12ヵ月後)	
要精検	7人	

(表2) 一般健康診査

対象者	3,053
受診者	2,420
%	79.3
精検者	1,655
有所見者	1,702
要観察	179
要指導	601
要医療	870

最近、日本では、乳がんの発生が増えています。松代町でも同様です。原因の一つに、生活の欧米化があげられています。乳がんも、早期発見が可能です。早くみつければ予後も良いとされています。「私は胸が大きいから心配だわ。」「私は胸が小さいから大丈夫よ。」なんてことは、全く関係がありません。胸が大きくても、小さくても、オッパイがある限り、乳がんのできる可能性はあるわけです。まあ、あまり心配なさらずに、今年も受けてみてはいかがでしょうか。

胃、婦人科、乳がんの検診に加えて、今年も肺がん検診もあります。

次に、一般健康診査状況をお知らせしましょう。

対象者3053人中、受診者は2420人でした。何も所見が認められなかった人は718人、何らかの所見が認められた人は1702人で、表2のとおりでした。事後指導会に結果をききにきた人は1595人(93.9%)で、代理の人の割合は表3のとおりです。できるだけ、ご自分でききにきていただきたいと思っています。また、当日都合のわるい場合は、個人的に役場へきていただいてもよいでしょう。事前に保健婦へ電話を入れていただければ幸いです。

(表3) 事後指導会代理出席

	64 ↓	65 ↑	計
男	137人 (8.6%)	34 (2.1)	171 (10.7)
女	55 (3.4)	14 (0.9)	69 (4.3)
計	192 (12.0)	48 (3.0)	240 (15.0)

「Know your body?」
自分の体を知っていますか。

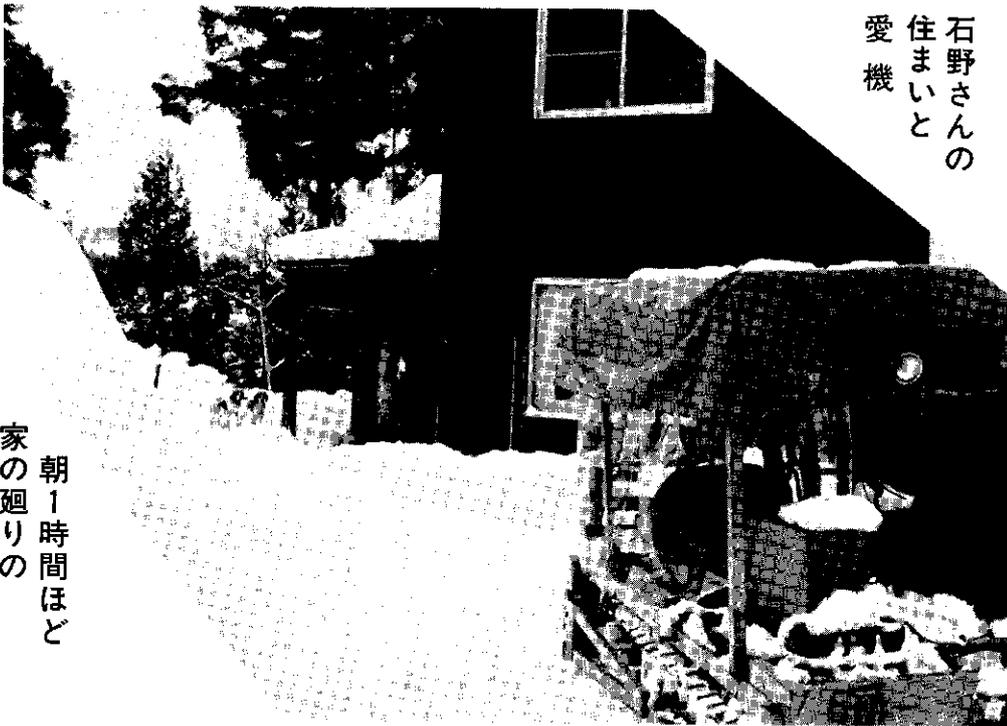
自分が健康だ、丈夫だ、と思っている人も、年一回はいろいろ検査を受けて、自分の体を知ることが、とても大切です。

「Know your body?」
自分が健康だ、丈夫だ、と思っている人も、年一回はいろいろ検査を受けて、自分の体を知ることが、とても大切です。

愛機は

エンジン快調!

石野さんの
住まいと
愛機



朝1時間ほど
家の廻りの
雪処理をする

ここ三日間に八十センチ近い降雪があった。(二月十五、六、七日)トツ、トツと軽いエンジンの音が聞える。

木和田原部落の中程に住む石野勇二さん(六十才、源善)の除雪機械の音である。

私もは足を早めた……。石野さんは昭和四十六年にUターンされた方である。趣味は機械いじりと鉄砲打ち、朝十時から開店する玉打ちが大好きだそうである。後者の方もプロ級の腕とか……。



11馬力ディーゼルエンジン、排土板幅1m30

の冬に一台目の除雪機械(圧雪)を試作した。足まわりは良かったが排雪用には今一步のようであった。昨年二台目の機械が誕生した。

出歩いた時に、この機械のあの部品と、この機械のここを利用して……と石野さんは各部の部品を集めておく。昨年出来た除雪機械も、川西町の森林組合の集材機を払い下げでもらったものである。鋼鉄の足(キヤタピラ)の部分にさらに、石野さんの工夫でスベリ止等の改良が加えられている。

油圧の配管の間違いで、排土板が上には上がるが下にはおりなかつたことも……。笑をうかべながら石野さんは苦労話を語る。

朝七時頃道踏みにする。もちろん愛機で、この辺の習慣で隣の家まで道踏みをする。その後家の回りを約一時間ほど除雪をする。(石野さんの家は自然落下となつている。)今年はずが少ないとこに愛機の改良(エンジンの位置等の変更など)でバランスが良くなり、燃料も三十六リットル程度で済んだと石野さんは愛機のできに満足そう

だ。
石野さんの住宅は二・五間×三間と昔風の囲炉裏のある部屋三間×一・五間に料理の上手な奥さんと二人住いである。

機械で踏んだ道は固く、狭い所でも愛機は入る。大雪の時は部落の下まで応援にでたこともある。……話はずんだ所で、隣りの中沢昇平さん(へいだ)に譲った一台目の除雪機を見せてもらうことにした。

深い雪の中でも走行できる機械を作りたいと話す石野さんの目は濼々と輝く。家を自然落下など工夫すれば……住み良い所ですと石野さんは付け加えられた。

交通警察官手記集

「おじいちゃん、ただいま」③

夕日の中に消えた少女

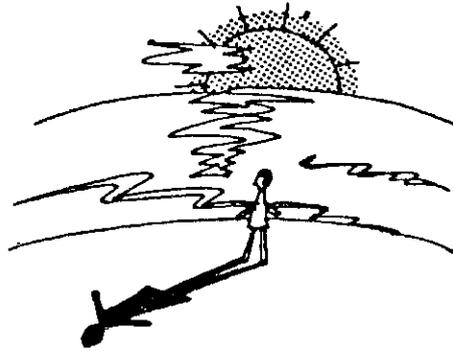
交通機動隊 武藤 司

その日も夕日があたり一面を赤く染め、日本海のかなたに没しようとしていた。そのころ一人の女の子が普通乗用車にはねられ命を失った。

被害者は、その年の四月から地元の保育園に通うようになった。可愛い盛りりの四歳の女の子でした。家族は、両親と祖母、それに三歳の男の子の六人家族で、とても幸福な家庭であったのです。その日は、父親が夜勤であったことから祖父が二人の子供を連れて近くの海岸まで散歩にでかけたのです。海岸までは、二人の子供の手をとって、バイパスの地下道をくぐり、砂浜にでたのです。砂浜で、石を投げたり、貝殻をひろったり、夕日をながめたりして、楽しい思い出を胸いっぱいにして帰宅しようとしたのです。そして、バイパスの地下道にさしかかったところで、三歳になる男の子

が、地下道の階段の登り降りがおもしろく、何度も登り降りして遊び、祖父も、この男の子が可愛いくなりません。もしころげ落ちでもしたらと、ハラハラしながら優しく見守っていたのです。しかし四歳に成長した女の子にしてみれば、階段の登り降りには興味がなかったのです。よう、祖父がちよっと目をはなしたときに、一人でバイパスの地下道をくぐり歩道まで出たのです。そして、しばらく祖父らの来るのを待っていました。そのうち祖父らが、再び砂浜にでも遊びにいったと思つたのでしようか、今度は地下道を通らず、バイパスを砂浜に向かって真つすぐに横断してしまつたのです。

その後は、家でぶらぶらと暮らしていた。就職のこと、友人のことなど考えながらモンモンとした毎日を送っていたが、ただこの少年にも、一つの生きがいのようなものがありました。それは、父親にねだって購入してもらつた新車の赤色スポーツカーで、バイパスを思いきり疾走することだったので。少年は、



かし、なにせ子供のことです、思ひ出したら一直線、とつさに飛び出してしまいました。この瞬間、バイパスを狂つたように暴走する少年の運転する普通乗用車、赤色のスポーツカーによって女の子の生命が失われてしまつたのです。

少年は、暴力事件を起こしたことから高校を二年で中退し、

毎日のように、決つた時刻になると、この車を運転して、我がもの顔でバイパスを暴走し、自分の気持をなぐさめていたのです。事故を起こしたこの日も、車のアクセルをいっぱい踏み、思い切りスピードを上げて走っていた。飛び出した女の子を発見して、急ブレーキをかけたのですが、間に合わずブレーキ痕が路面に残つたのは、衝突地点からはるか先だったので。赤色スポーツカーの前部は、悪魔か刃物を振りかざしたように鋭くとなり、一瞬にして幼い子供の生命をうばってしまったのです。女の子の身体は、まるでゴムマリでも投げたかのように路面にはずみ、遠くはなれた中央分離隊のコンクリートの上まで飛ばされたのでした。

いくつかの交通事故事件の捜査にあたってきましたが、この女の子の身体をかかえあげたときの情景が忘れられません。人の命の重み、尊さ、はかなさを、そして悲しさのあまり放心したようになつた女の子の祖父の姿、白からの行為の重大な結果にうち震えていた少年の姿をみて、決して再びこのような悲惨な事故を起こさせてはならないと心に誓つたのです。

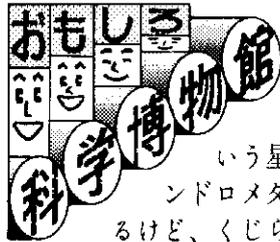
昭和62年交通安全スローガン

とび出すな

ぼくたちみんなの

合言葉

たくさんの人たちが松代を訪れるようになれば、町が活気づき商業も発達することでしょう。そうなれば、松代に働く場が増え、お父さん方が出稼ぎに出なくてもよくなるかもしれません。冬、このうちも家族そろって過ごせるようになったら、どんなに楽しいだろうと思います。トネル堀りの工事をしてくださっているみなさん、大変なお仕事だと思えますが、どうぞ開通めざしてがんばってください。



不思議な星 "ミラ"

みなさんは「くじら座」という星座を知っていますか？ アンドロメダ座やペガサス座なら知っているけど、くじら座なんて知らないという人も多いにちがいありません。しかし、ギリシャ神話の中では、アンドロメダ姫を飲み込もうとして勇士ペルセウスに退治される化けくじらとして知られています。

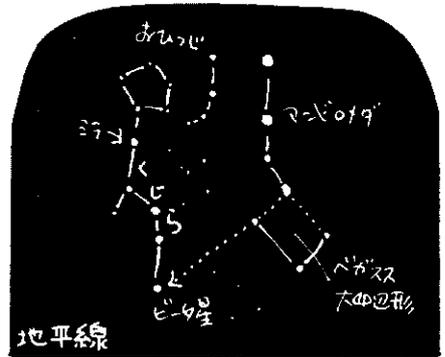
秋の宵の空が一番見やすいのですが、3月初めですと、日が暮れてすぐ、西の低い空にちょうどこの星座が見えています。ずいぶん大きな星座ですが、明るい星が少ないので初めての人は見つけにくいかもしれません。少し星座を知っている人なら、有名なペガサス座の四辺形の左の二つの星をたてに結んで左下に延ばしていくと、くじら座の中で最も明るいベータ星（2等星）が見つかります。空の暗い所なら、参考図をたよりに星をたどっていけば、大きな「化けくじら」の形がわかるでしょう。

姿を消した見なれぬ星

さて、今から400年近くも昔の1596年8月、ドイツのフアブリチウスという天文学者が、くじら座の中に見なれない明るい星が光っているのに気づきました。この星はやがて暗くなって見えなくなりましたが、13年後の1609年になって、彼は再びこの星に気づきました。

こうして、星の中には時によって明るさを変える「変光星」というのがあることが、初めて知られたのです。この星は不思議な星という意味で「ミラ」

と名づけられました。今日では同じように明るさを変える星がたくさん見つかっていて、それらは「ミラ型変光星」として知られています。



西

3月はじめ午後7時ごろ

2等星の明るい星が半年後には10等星に

この星は、地球から250光年ほどの所にあります。直径は太陽の400倍以上もある巨大な星で、それが332日ほどの周期でゆっくりとふくらんだりちぢんだりしているために明るさが変わります。

最も明るい時には2等星くらいになることもありますが、暗くなると10等星くらいになって望遠鏡がないと見る事ができません。今月みつけられなかったら、次のチャンスは今年の暮れごろからです。

空のよく晴れた晩に探してみてください。フアブリチウスと同じような経験ができるかもしれません。

指導——国立科学博物館理化学研究部長・村山 定男

(注) 光年——長さの単位。1光年は光が1年間に進む距離でおおよそ9兆6000億キロメートル。
等星——星の明るさを表す単位。最も明るい見える星が1等星で、全天には21個ある。最も暗く見える星が6等星。等級が1つ上がるごとに、ほぼ2.5倍ずつ明るくなる。



私領時代

わたしたちの松代は戦国時代（川中島の合戦のころ）からの私領時代、天領時代がありました。

年間に有名な越後騒動が起きて越後中将家は取潰されてしまいました。

宝暦六（一七五六）年の松代村指出明細帳には

一、当村古来六齋之市場ニ而御座候高田御領之節ハ御陣屋元ニ而松之山組中六拾三ヶ村寄合其次而ニ諸品売買仕候ニ付六齋市繁昌仕候得共以下略

という記述があります。

この文中に高田御領の節とあるのは、さきに書きました大名が治めていた時のことをいっているのです。

つまり、越後中将家が延宝八（一六六八）年お取潰しとなるまでは高田の殿様の支配地で、松代には御陣屋があったということです。

元和九（一六三三）年からは、越後中将家といわれた松平光長が入封してからその治世が長く、漸く安定期を迎えるかに見えましたが、在世五十七年間その晩

さて、この陣屋は大字松代のどこにあったものでしょう。人の話では大正年代旧タバコ屋が家（現樋口芳男氏宅）を建てる時、大きな掘立柱が地中から出たといえます。或いは陣屋は

この辺だったかも知れません。昔は、地震柱とも称して掘立柱が用いられたことと、柱の太さを聞くと並の家屋ではなかったように想像されます。また、松代で六齋市が繁昌したといいますが、市場はどのあたりで開かれたものでしょう。今の中町といわれる地域の地形は大変変わりしているようなのでまだまだ調べなければなりません。

私領から天領へ

いま町内各地で江戸時代最大の悉皆検地が行われたときの、天和三（一六六三）年、検地帳が存在しますが、この時期はもはや松代町全体は大名の領地ではなく

以後幕府が倒れるまで、徳川幕府（將軍）の直領になりました。幕府直接の支配地のことを天領といえます。従って將軍の家来（旗本）が代官として江戸から任地（代官所）へ赴任して治めることになりました。

わたしたちの村むらは、東、中、西頸城三郡を一つにした頸城郡の松之山郷といわれましたが、代官所は何度も何度もめまぐるしく変わります。

吉木、馬正面、川浦、脇野町、出雲崎、水原、と代官所の所属が移りかわっているのがわかります。

代官支配の合間には、長岡の殿様や高田の殿様の預所になったり、一部が会津藩の預所になったこともありました。（片桐山等）

代官

さて代官というと偉い高級武士かと思うとちがいます。なかには異例もありますが、せいぜい何百石取りという旗本武士でした。

令達文書の中でも年貢割付、皆済状を見ていくと、めまぐるしく年号が替るように、代官も交替しています。

本宅を江戸に置いて着任させるので幕府としても長期間滞在させなかつたと思います。

幕末の動揺期になると江戸にいて代官所を留守にする代官もいたようです。

これら代官の中に文化七（一八三〇）年から脇野町代官所へ着任した羽倉外記という人物がいます。

わたしたちの地域もこの人によって支配されましたが、文化十二年三月まで代官を勤めています。在任中どんな善政をしたかわかっていませんが、越後を去ってからのことが少しわかりました。

蘭学を通じて新知識を学ぶ尚齒会のメンバーで、渡辺華山、江川太郎左衛門、鷹見泉石、高野長英等々と交際している当時一級の知識人であったことの外、



幕府納戸頭、勘定吟味役に抜てきされて老中水野忠邦からも親任され天保改革に参画、内政改革に従事しております。

時あたかも鎖国の日本へ黒船が出没し、国内では経済の元を商業大資本ににぎられて幕府も諸藩も窮地にありました。不隠な世相を反映してヤクザが横行した時です。八州取締役から聞き書きした国定忠治の伝記「赤城録」も書き遺しています。

幕府経済建直しのために立案した上知令が、旗本や諸藩の反発を買い水野忠邦とともに失脚しますが、彼の考えは人より一歩進んでいたと思います。へ掲載の絵は現、国立博物館に所蔵されている羽倉外記像

佐藤純一君

冬期ユニバーシアードに出場！

佐藤純一君(専修大・千年、はんぜん)が、一九八七年ユニバーシアード冬期大会に出場し、三月七日役場を訪れた。

大会は二月二十日から二十八日まで、チェコスロバキアのストラブスレソで開催され、距離30キロ競技で、佐藤君は十八位(六十八人中)、15キロでは四十七位(七十人中)と健闘した。ご苦労さまでした。



秋山町長に成績を報告する佐藤純一君



都会と田舎

小島達夫



今回、若者のUターンについての原稿を依頼されたのに、僕自身Uターンというものに対しての実感がなく途方に暮れてしまいました。そこで、僕は都会での生活で感じた、この町と都会の若者達の「生活、時間、文化」に対する価値観の相違を書いてみようと思います。

一九八七年現在、時代の流れは『軽・薄・短・小化』という波の中で加速度的に動いている。しかも、テレビや雑誌等のマスメディアの中においても、『軽

薄・短・小』が受け入れられ、それは若者の文化に一番深く浸透し始めてきている。

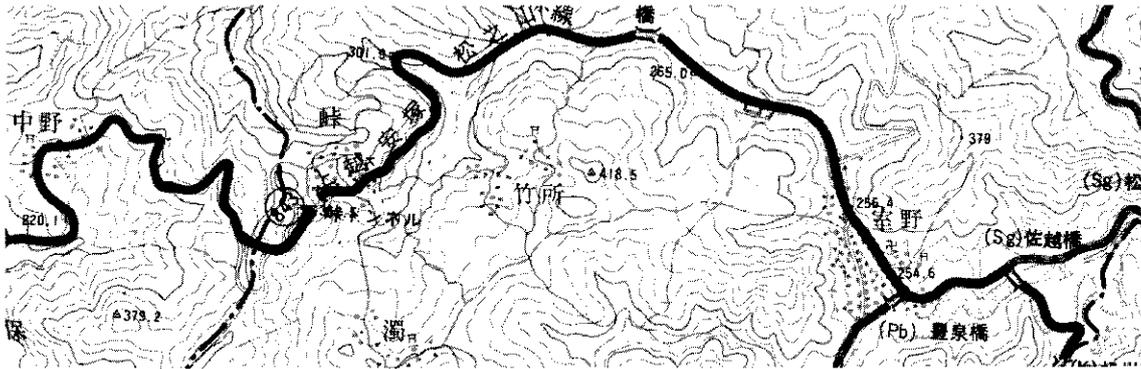
これは理屈ではなく、感覚的な価値観の文化であり、情報化社会が生んだ副産物かもしれない。しかし問題なのは、都会と田舎の情報量のギャップが大きいため起こるトラブルである。

田舎の暮らしの中では、まだ保守的な思想が根強いために若者達と大人達との間に、摩擦があるためうまくコミュニケーションが取れず、文化が足踏み状

態になっている事もその一つだ
と思う。

だから、この町で暮らす人達一人一人が自分の殻を破ることで、この町でしか出来ない文化が生まれるような気がします。次は、時間に関する事を書きたいと思います。

最近とくに、日常生活の時間に対する価値観が変わってきた。会社や学校などのような団体の中での時間よりも、プライベートな時間に精神的安らぎを求めるようになってきたように思います。田舎でもその傾向は見られ始めてきたのではないのでしょうか。しかし、都会で暮らす人達との徹底的な違いは、時間の利用のしかただと思えます。たとえば、都会では時間に対し非常にクールだということです。その時間が自分にとつていかに希少価値があるかを知っているからではないでしょうか。この町では、生まれた時から自然単位の時間の中で暮らして来たせいもあって、時間の流れは、都会の人達よりも揺ったりとしている。だから、そこでもっと時間をうまく利用すれば、都会では得られない素敵な時間と生活が生まれて来るような気がします。



部落紹介シリーズ(40) (最終回)
 峠部落紹介 (紹介者 牧田 貞夫氏)

松代町大字峠(部落)、○
 峠と名前の付いた峠は多いですが、峠と言う一文字の地名(部落名)は見当たらないと思われ
 ます。

峠部落は、松代町の最も西に
 位置し、大島村と隣接する三十
 七戸、百三十二人の住む小部落
 です。

町役場からは西へ約十キロ、
 県道上越・安塚・松之山線を室
 野、木和田原を経て大きく曲が
 った道を登ると峠部落が見えて
 きます。昔から交通の難所であ
 ったのです。東頸城郡東部の皆
 様には、国道二五三号線開通前
 又県道が無雪道路になる以前の
 冬の峠は忘れる事の出来ない部
 落かと思われます。真冬の吹雪
 の時などは、命がけて越した経
 験をなされた人もお有りかと思
 われます。昭和二十年代から三
 十年前半にはヒュッテ(横尾好
 和経営)が大島境の尾根(部落
 の人達は「はぎたて」と呼ぶ)
 から少し下った所に有り、公営
 の非難小屋も近く建てられてい
 ました。

町道、室野、竹所、峠線より峠部落をのぞむ



春ともなれば、出稼ぎ帰りの
 人達が長い列をつくって部落を
 通過していきました。天気の良い
 暖かい日には、はぎたて(大
 島境)に建てられている牧田音
 松翁の石像(墓)の前に大きな
 荷物を下して休んで居る人達も
 大勢見られたものです。道端に
 有る峠小学校は東部の小中学校
 の先生方の休息場となっていた
 のです。今ではその峠小学校は
 昭和五十九年に室野小学校と統
 合して奴奈川小学校と成り、雪
 道を歩いて通る人も全く無くな
 りました。

始めに部落に有る公共建物を
 紹介しておきます。旧峠小学校
 体育館を地区公民館(四隣)と
 して、峠地区四ヶ部落(峠、木
 和田原、竹所、濁)の公民館活
 動の中心に成っています。位置
 はバス停留所(県道)のすぐ上
 に有ります。集落開発センター
 部落総会を始め各種の会合に使
 用している所です。停留所から
 居村線約四百米登ってやや平た
 んな場所のほぼ中程です。峠生
 産組合ライスセンター、部落の
 共同作業所で乾燥機十六石形二
 機、十石型一機、もみタンク六
 基、もみすり機四インチ型等で
 秋の収穫期には八六〇俵を調整
 しております。ライスセンター
 は、旧小学校を改造して使って

います。その他消防ポンプ置場
農業資材倉庫等です。

他部落と一番違っているのが
神社かと思えます。十二神社、
諏訪神社と祭つて有るのですが
社が石で部落の中高い場所に
二社並んで祭られています。こ
こが海拔約三百九十米位です。

部落の構

成ですが、昔からの本
家、分家の家内制度で
冠婚葬祭を行つていま
す。行政関係では部落
委員を選出し、区長、農
区長、班長で運営し、
他の多くの部落と同じ
です。

部落の習
慣や行事等

は郡西部からの影響が大きく、
言葉(方言)も東部の各部落と
違うのが多く聞かれます。今で
も大島村との縁組が多いのです。
又宗教も全戸が浄土真宗(門徒)
でそのほとんどの菩提寺が西部
に所在しているのも、大昔から
西部との関係の多い部落だった

事と思えます。

次に当部落の共同墓地が見晴
らしの良い所に有ります。部落
の西方、小高い山の上で、海拔
約四百米、大島村との境です。
八月のお盆の時期でも日本海か
ら吹いてくる風が涼しく、良く
晴れた日には北西に日本海、遠



十二神社と諏訪神社

くに能登半島が見られ、西には
頸城平野から、そびえ立つ妙高
火打、焼山の山々の美しい姿が見
え、その奥に長野県の黒姫、飯
綱、戸隠が望まれます。
南は、新潟県と長野県の県境
の山々が長く横たわり、南東に
苗場山、谷川岳と群馬県境、東

に廻つて、巻機山から福島県境
の魚沼三山が全望できます。東
北には大伏の権現様、遠くに蒲
原の山々がかすんで見え、見事
なパノラマを見せてくれます。
墓地から南北に延びる尾根は東
頸城の分水峰に成つて鍋立山ま
で続いています。この場所に墓
を集めたのは江戸時代末期か明
治初めかと思われまます。

峠部落の起こり(始まり)で

すが、部落には寺も無く、親氏
家(最も古い家)を探しても、
古文書が残つて無いとの事で確
かなことはわかりませんが、ご
老人達の話によると、昔からの
言い伝えて、戦国時代に北陸(福
井、石川)方面から追われて、
この地に住みついたのが、牧田
姓の先祖とのことです。又この
地には、それ以前にも集落が有
り、寺も建てられていたとの話
です。その事を裏付けるように
今も屋号に寺田、墓原と呼ぶ家
が有ります。神社もその大昔か
らの物件と思われまます。昨年、
(昭和六十一年)神社境内を農
免道路が作られる為、神社庁に
申請致しました所、明細書が届
き次の事が書かれていました。

- 一、鎮座地 奴奈川村峠七百四十八番地
- 二、神社名 諏訪神社
- 三、祭神 建御名方命、大山祇

町道峠、香の原線より鍋立をのぞむ



命

- 四、祭儀 九月十五日
- 五、社殿 石祠、間口耆尺、奥行耆尺五寸
- 六、由緒 創立年月日、不詳
明応年度の由
- 1、慶長四年五月、郡奉行へ提出の御内御由緒書上帳に記載する。
- 2、天和二年、真田伊豆守検地の際、古来の通り際地。
- 3、宝暦九年十月、川浦代官御尋に付、調査書類提出。
- 4、明治二年、柏崎民政局へ神号由緒書上帳提出。
- 5、明治十四年二月、官有境内地を無償私下を受く。
- 6、明治十四年六月、大山祇命ち合。
- 7、明治十六年、神社明細帳作製、県並に郡役所に提出。
- 8、昭和二十一年六月二十日、宗教学人令による神社本庁所属届出。



手づくり基盤整備

農道コンクリート舗装

の先祖が越中から真宗一揆で逃げて来たとき、御寺は中頸城郡板倉町にとどまり又追われたら逃げて入るのにと峠まで来た。その時の峠は先住者が在った土地だったが、どうした訳か全部絶えて御寺跡墓場等在ったが現在の屋号中林の高い所に鎮守様在了たらしい。それで長老の話では鎮守が先だか重兵右衛門先だかと言っていたそう。重兵右衛門とは本家の御寺と一緒に逃げて来た人である。それで、明治四十四年に現在位置の諏訪神社の祠と並べて、祭祀までは

中林宅の下の道路の両側に祭祀の祭の幟を建て御宮の昇り口には朱塗りの鳥居があった。御宮の境内には周囲四米以上もある杉の木があったが、明治四十四年に松代の宮沢神主さんの孫御じいさんの祭主で、夏の夜だったが神主さん四

人ほど御出でになって宮送りをした。御宮の木は牧田長吉さんの父親が材木屋へ幹施して売ってもらった伐採した木の中から昔の人の願掛けのものだと思われる金の杭が出たとの話だった。

神社明細書に記

載されている合祠年月日を牧田栄一氏の八才の時、見て覚えている合祠の年月日の違いは、昭和二十一年に神社本庁へ届け出す



転作大豆で自家製みそ作り

自家製みそ作り

時に何等かの間違いが有ったかと思えます。当部落の現在の状況について終戦直後の昭和二十五年当時は約六十五戸(当時は流動的ではつきりしない)でしたが、三十六年経た今では三十七戸に減ってしまいました。今後も分りませんが今は全戸で頑張っています。

一種兼農二十四戸、二種兼農六戸、大工二戸、商業一戸、会社員一戸、その他三戸。耕作面積田四四・五〇アール(六十年共済面積)玄米農協売り渡数六千七百二十袋(まつだい農協の約一割)。一種兼業農家の平均耕作面積が二町歩以上(実面積)、山村でこれだけの面積を耕作できるのは、先輩の皆様方の早くから部落事業で農道作りをしてくれた事かと思えます。ほ場は棚田ですが、耕作整理は自力で行って現在はトラクター、コンバインの大型機械がほとんど使えるようになっていきます。田植は、約九九パーセントが機械植え(苗は約八〇パーセントが中苗)、稲刈りは、約七〇



共同利用生産施設として

トラクター4台が購入された。

パーセントがコンバイン、残りは生ごきハーベスター作業で行うので、近年では、はせ稲がほとんど見られなくなりました。(部落内の中大型機械の保有台数、四条田植機約十台、トラクタ一八台、コンバイン十五台、昭和六十一年秋現在。)

最近の部落内の主な事業。昭和五十八年から三年間、山村農業活性化、(産業)事業内容、ライスセンター、トラクタ一四台、農産物加工施設、農道舗装、手作り基盤整備、干害用た

め池、等で事業費三千三百五十万四円。昭和六十、六十一年町道入山線(居村)、昭和六十年冬季部落駐車場、克雪用ブルドーザ配置、昭和六十一年から農免道路鍋立線(峠||木和田原間約四千米、工事期間六年間位)六十一年は部落内約五百米。

以上で私の知る限りの峠部落を紹介させていただきました。不慣れな者で取りとめのない文でした。又数字や年代で誤りがありましたらお許し下さい。

三十九部落紹介終わる!

昭和五十八年五月号よりシリーズで掲載いたしました、部落紹介も今月号で全部落紹介となりました。御協力、大変有り難うございました。

消雪日は何日頃?

◎昭和57年(消雪日)

昭和58年4月25日)

(降雪量累計 1,126cm)

積雪量 221cm

3月10日現在)

◎昭和61年(消雪日)

昭和62年4月20日±5日?)

(降雪量累計 1,005cm)

積雪量 183cm

3月10日現在)

[役場裏調べ]

春

「青春まったただ中」とか「青春まるかじり」といった表現があります。

青

人生の春に当たる若い時代を指す「青春」は、何でもない言葉のようですが、実は遠く中国の「陰陽五行説」とつながっているのです。

中国では古来、万物は陰と陽の二気によって生じ、五行(木・火・土・金・水)という元素から成ると考えられてきました。木と火は陽、金と水は陰に属し、土はその中間にあるとされたのです。



方角では東・南・西・北・中が、木・火・金・水・土に当たります。季節でいえば、春・夏・秋・冬・土用、色でいえば青・朱・白・玄・黄となるわけです。

四季の異称は春と結ぶ「青春」で、あとは「朱夏」「白秋」「玄冬」。北原白秋の号も、これに由来しています。

相撲の四本柱の方角と色も同じで、それぞれに青竜・朱雀・白虎・玄武の四神が配されています。

たしかに、春は木々が青くなる季節ですが、「青春」にはそれだけでなく、古代中国の思想が秘められているのです。

統一地方選挙

昭和二十二年以来、四年に一度の統一地方選挙は、今回が十一回目。三月二十三日の都道府県知事選の告示で幕を開け、四月十二日投票の前半戦は、北海道、東京、大阪、福岡など十三都道府県知事選のほか、東京、茨城、沖縄を除く四十四道府県議選、さらに政令指定都市では札幌、川崎の二市長選、北九州を除く九市議選の投票が行われます。

四月二十六日投票の後半戦では、青森、宇都宮、浦和、甲府など十一の県庁所在地を含む一般市長選と市議選、町村長選、町村議選が一斉に行われます。東京特別区の区長、区議選も同時に投票されます。

三月から五月の間に任期満了を迎える地方団体の首長、議会議員(都道府県、政令指定都市関係を除く)は、今年初め現在一般市長百三十三、市議会議員三百八十八、町村長七百七、町村議会議員千二百九十五、東京区長十七、区議会議員二十三。これらの選挙を四月に統一して行うので、高投票率が期待されます。

4月12日

新潟県議会議員

一般選挙投票日



面、胴、コテ、道具をつける。シャンと、からだひきしまる

の部分が多いのです。しかし今後若い研究者が多くなり、順次生態が明らかになる鳥も多くなると思います。自然豊かな松代町から、次代をになう若い鳥類研究者が出ることを希望しています。昭和五〇年に出版された「上越の野鳥」という本に、「ノジコ」を松代町の鳥として指定されていると記載されておりますが、現在まで、町の鳥の指定はありませんので、「ノジコ」を松代町の鳥として指定し、「ノジコ」が棲む草地、雑木林（ブナ、ナラの林）を残し、「ノジコ」

棲む町」として、自然を生かした町作りをして、バードウォッチャーを都会から招き、研究施設を作ることも、活性化の一方法かも知れません。もうすぐ、ブナも芽ぶき、南から、ノジコ、ツバメなどの野鳥が渡って来てにぎやかになります。松代城の登り口付近の草地で、ノジコのサエズリを聞くのも、楽しいことです。

（）標識調査を行うには、環境庁長官から捕獲許可を受けることが必要です。

たぐましく 強い心身を 剣道教室

面、胴、コテ、道具をつける、シャンとからだひきしまる。汗ばんだ稽古衣をぬぎ、その糸に母の言葉を思い出す。「や

心身の鍛錬を通しての人づくりをめざす剣道の理念を、みごと詠まれた味わい深い詩です。打ち合いの上手下手、勝敗のみを云々しすぎる人が多くいますが、それは正しい剣道のあり方ではありません。剣道教室では、まず正しく座ること、礼をすることなどの礼法から始まります。腹の底から大きな声を出す練習



一礼して竹刀をにぎる……ピーンとしたものが……。

り始めたらやりぬきなさい」と。ひろげた掌の竹刀だこを静かになせ、苦しさをのりこえたよろこびをかみしめ、悔なき少年の日のしるしにしたいと結んでいます。

竹刀を持ち防具をつけ、待望の面をつける頃の目の輝き、たくましく根性のある顔が見られます。対外試合の経験、昇級、昇段審査も大きな励みになります。有段者も多数出てきました。すべての事に礼を守り、愛と感謝を忘れず、楽しい仲間づくりの中で、強い意志と身体をもった立派な少年を、皆さんとともに育てていきたいものです。

町営バス ご愛顧で半年



ようやく山肌に草花の芽吹く
 時節となり、町営メロディバス
 運行開始より五ヶ月経過いたし
 ました。その間、沿線地域の皆
 様の御愛顧で延八二四六人(一
 回平均5.4人)の方々より御利用
 下さいませようお願いいたしま
 す。

4月1日よりダイヤ改正

四月一日より町営メロディバ
 スを夏期ダイヤで運行いたしま
 す。⑧の十日町線が増便されま
 すので連絡のため午後のダイヤ
 が一部変更になります。時刻表
 をよく御覧下さい。

町営バスに関する御意見、御

家庭に一冊回数券

使ってお得な定期券

要望は、松代町役場総務課まで
お気軽に御一報下さい。お待ち
いたしております。
☎ 七—二二二〇

喜びの中の マーク

デパートや薬局で見かける小
 麦胚芽油やビタミンC含有食品、
 クロレラなどの健康食品。「栄
 養のバランスを考えて」「体で
 つくれない栄養素をとる」など
 の理由から、人気が高まってい
 ます。しかし、健康食品にはい
 ままでこれといった基準がなく、
 それらを食べて「下痢をした」
 「しっしんができた」などの苦
 情やトラブルが少なくありませ
 んでした。

そこで、こうした苦情やトラ
 ブルを未然に防ぐために財日本
 健康食品協会では、厚生省の指
 導のもとに、JHFA (Japan
 Health Foods Association) 前
 記協会の英字表記の略) マーク
 を制定し、健康食品の安全や品
 質を保証しています。

十二品目に

規格基準を設ける

(財)日本健康食品協会では、特
 に市場にたくさん出回っている
 健康食品十二品目(マークの対
 象品目参照)について製品規格、
 製造、加工、表示の基準といった
 規格基準を設けています。これ
 は、いわば健康食品の見張り役

この基準は食品衛生法、栄養
 改善法、薬事法、景品表示法な
 どを踏まえ、(財)日本健康食品協

JHFAマーク

健康食品の 見張り役

会が組織した専門委員会を検討
 されてつくられたものです。
 このマークをつけるためには
 (財)日本健康食品協会に書類を申
 請し、厚生大臣指定の分析機関
 で検査を受け、規格基準にあつ
 ているかどうかの審査を受け、
 合格したもののだけに、JHFA
 マークがつけられ、市販される
 こととなります。

必要事項の一括表示で

特徴が一目でわかる

JHFAマークのついている
 健康食品には、消費者にその特
 徴が分かるように必要事項が一
 括して表示してあります。

必ず表示されている事項とし
 ては、次の八項目があります。
 ①名称 ②原材料名 ③内容量
 ④製造または輸入年月日 ⑤消
 費期限 ⑥製造所(販売者の住
 所、氏名) ⑦規格成分およびそ
 の含有量 ⑧保存上の注意

現在、十二の品目について規
 格基準がつけられていますが、
 今後それ以外の健康食品にも、
 順次規格基準がつけられます。

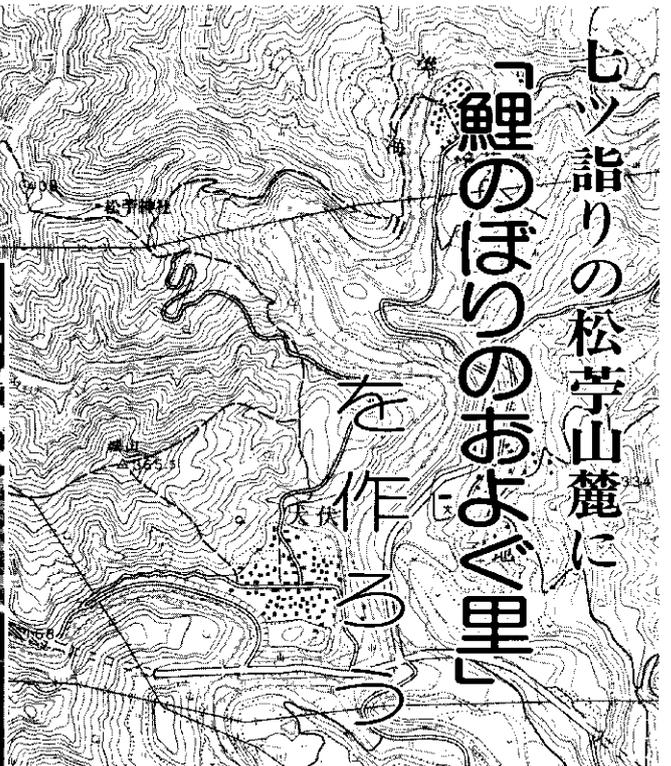
JHFAマークのついた健康
 食品は、厳しい審査に合格した
 ものです。このマークは、健康
 食品を選ぶための安心の目安と
 いえるでしょう。



対象品目

小麦はい芽油、大麦
 はい芽油、米はい芽油、
 はと麦はい芽油、ビタ
 ミンE含有植物油、ビ
 タミンC含有食品、酵
 母食品、食物繊維加工
 食品、エイコサペンタ
 エン酸(EPA)含有
 精製魚油加工食品、ク
 ロレラ、スピルリナ、
 オタネニンジン根加工
 食品の12品目。

毎年5月8日は「七ツ詣り」と言っ
て男児生まれて7歳に達すれば必ず山頂に
登って祈願する習慣が今でも続いている。



— お宅のタンスにねむっている
不用になった鯉のぼりを
寄付して下さい —



林道 犬伏・松芋山線、犬伏部落より 300m入った付近。

犬伏のボランテイア活動グル
ープ「樺の会」(代表山本耕一
さん、会員十名)は松芋神社の
七ツ詣りの時期に松芋山麓に鯉
のぼりを泳がせる計画をしてい
ます。

七ツ詣りを終えた男児のその
後の健やかな成長を祈願するた
め、不用となってタンスにねむ
っている鯉のぼりを寄付してい
ます。

ただき、松芋神社にて御祓いを
受け、毎年時期になったら立
て泳がせようというものです。
広く町民の皆さんから募集し、
一匹でも多くの鯉のぼりを集め
たいと依頼がありました。

◎提出先
松代町犬伏、山本吉郎(は
んべい宅7-2947)又
は役場産業課7-2220
に、荷札等を付けて下さい。

◎提出先
松代町犬伏、山本吉郎(は
んべい宅7-2947)又
は役場産業課7-2220
に、荷札等を付けて下さい。

◎提出先
松代町犬伏、山本吉郎(は
んべい宅7-2947)又
は役場産業課7-2220
に、荷札等を付けて下さい。

ませています。

募集要領は左記のとおりです。

◎趣旨

七ツ詣りを終えた男児のそ
の後の健やかな成長を祈願
すると共に「松芋神社と鯉
のぼりのおよぐ里」を松代
町の観光として育てる。

◎寄付をいただくもの

○鯉のぼり、吹流し。(いず
れも数は問わない。)

○索道のワイヤー(鯉のぼり
をつるすので長い程良い。)

◎寄付の時期

4月20日まで(本年年用)

来年年用は随時

◎提出先

松代町犬伏、山本吉郎(は
んべい宅7-2947)又
は役場産業課7-2220
に、荷札等を付けて下さい。

◎期間

4月下旬より5月中旬まで、
場所は集まった数により決
定。

◎寄付をいただいた鯉のぼりは

(4月20日までに受け付けた
分)松芋神社で御祓いを受け
毎年およがせる。

◎寄付者の氏名は、御祓いを受

けたのち別途掲示する。

パート2

非行

何が彼らを
そうさせるか

問い直される親子関係⑨

飲酒

秘密めいた連帯感が

当然ですが、未成年者の飲酒は法律で禁じられています。また、酒店などが“飲用”を承知で未成年者に酒類を販売してはならないことになっています（未成年者飲酒禁止法）。

■社会的背景 その1——コマーシャル

ところで、テレビから酒のコマーシャルが流れない日は、一日としてありません。新聞や雑誌でも、日本酒、ウイスキー、ビール、焼酎など多種多様の酒類の広告があふれています。著名な芸能タレントなどが登場して、そのスター性とファン心理を巧みにからませ……アルコールも、ファッションの一つとなりつつあるのかもしれませんが。中身は同じビールなのに、缶容器の種類がいくつもあつたり……。特に最近では、若い層に的をしばったコマーシャルが目につきます。酒は、若年層にとっても身近に感じられるものになりつつあるようです。

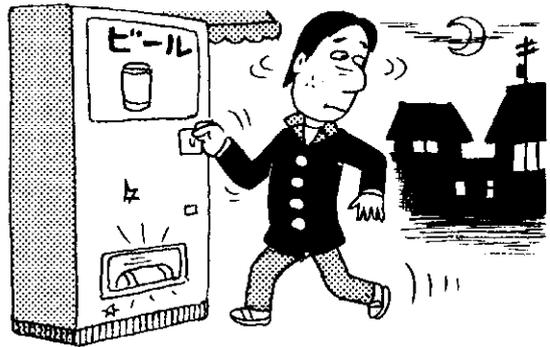
■社会的背景 その2——自動販売機

自動販売機の出現によって、お金さえあればだれでも、酒を買えるようになりました。かつては、店の人と顔を合わせて、近所の酒屋だと、一言、三言あいさつの言葉を交わすなりして買ったものでした。未成年者が、自分で飲むために酒を買いに行けるような状況ではなかった。そこには、おのずと未成年者の飲酒の機会を摘みとる仕組み、近隣社会の制御装置が働いていたのです。この、社会のチェック機能を一挙に葬り去ったのが自動販売機です。昼間は人目につくと思えば、暗くなってから行って買うことができる——中学生でもその気になれば、容易に酒が手に入ります。

■中学生特有の心理

中学生という年齢は、大人の世界への期待とあこがれを胸に秘めています。その大人の世界を象徴するもの、そしてごく身近にあるもの、それが酒とタバコです。

「酒も時どきは飲むし、たばこだって吸えるさ」という台詞を仲間に向かって言えることの痛快さ。大人でなくちゃやってはいけないことを、ひそかに実行することで仲間意識を共有する——その優越感。「酒もたばこも経験したことのないヤツなんて、真面目すぎて付き合いきれない」と友達から言われることの怖さ……な



どなど、中学生の心は大人世界への接近の過程で微妙に揺れています。

■親の態度

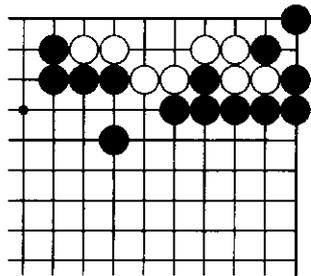
ちょっとぐらゐの飲酒で済むなら、勉強など肝心なことをきちんとやる限り、黙認しよう——という気持ちが親には少なからずあります。

昔なら、何をおいても、酒やたばこを厳禁したでしょうが、現在では、それほど罪悪感を持っていない場合のほうが多いようです。酒を飲むから不良、飲まないから真面目といった単純な区分けにはあまりこだわらないようです。

■非行への入口

どういったきっかけで非行グループと一緒に行動するようになったか……そのきっかけとして、共に酒を飲んだ、つまり酒がとりもつ縁が相変わらず多いことは事実です。中学生の飲酒は——独りで飲むことはまずありませんから——仲間同士の秘密めいた連帯感を生み、それが非行の芽となることは今も変わらないようです。

岩佐壽夫 家庭ケースワーク研究所所長
東京都世田谷区教育委員会生活指導相談員



詰碁

出題 本因坊 武宮 正樹
白先生き・5手まで
● ヒント……グメツマリ。
3分で1級、1分で有段者。



戸籍の窓口

2月受付分

げんきなよい子に(出生)

市川聡子 父健司 母京子

(長女・田沢・宮下)

柳 沙織 父護 母良枝

(長女・松代黄金屋)

二更福を祈ります(死亡)

福山スイ 78歳 松代 金助

池田シイ 77歳 田野倉幾円

高橋竹之照 77歳 蒔平 村上

高橋キヨノ 79歳 福島 原

小山トモ 78歳 蒲生 西

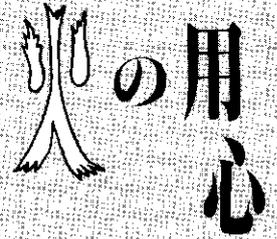
春の火災予防運動

4月1日～7日まで

火の用心七つのポイント
必ず守って下さい。

- 1、寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。
- 2、子供は、マッチやライターで遊ばせない。
- 3、風の強い時は、たき火をしない。
- 4、天ぷらを揚げる時は、その場をはなれない。
- 5、家のまわりに燃えやすいものを置かない。
- 6、ふろの空だきをしない。
- 7、ストーブには、燃えやすい物を近づけない。

今日も
今夜も



防災
シリーズ 57

防火の大役
あなたが
主役

運動期間中
午前7時午後6時に
警鐘が鳴ります。



防火座談会 開催の御案内

毎日のように新聞の記事をに
ぎわしている火災ノガス爆発ノ
地震ノ
私達の身边には、さまざまな

災害危険が潜んでいます。もし
このような災害が家庭、職場等
で起きたら、あなたはどうしま
すか？

雪消えとともに農作業が始ま
り、家を留守にする機会が多く
なり、子供の火遊び等による火
災、又庭の片付等で焚火による
火災も心配されます。

あなたの職場や部落等で座談
会、防火映写会など希望される
方は、気軽に役場消防係分遣
所に連絡して下さい。
なお今回、次の新しい防火フ
イルムを三本購入しました。

△一般向け

「あなたと防火」

△小学生向け

「一九九ちゃんの安全点検」

「キャプテン翼の消火作戦」
連絡される場合は次の要領で
お願いします。

- ①開催日時 ○月○日○時から
 - ②開催場所 ○○部落集会所
 - ③実施項目 防火座談会、映写
会、消火実験等
 - ④参加人員 約○○名
- 連絡先
○役場総務課消防係
☎七二二二〇
○松代分遣所
☎七二二二〇

文芸



短歌牡丹雪

草野 和作

男らはみな出稼ぎて機を織る女の窓辺に降る牡丹雪

過疎化して乗合バスの停留所人通るたびに捨て猫の鳴く

雪浅くいまだつぶれぬ離村の家ひさし傾き朽ちて長かり

つかの間の正月休みおわりたり出稼者上りのバス停に待つ

正月をおえて出稼ぐ友の背に雪降りかかる六十才という

涙して残留孤児の訴うるを妻も黙して夜のテレビ見る

しぶみ句会

書初めの年ごと減りてどんど焼く声高に福呼ぶ家の子沢山

冬に入り山に囲まる村百戸暖冬の一村暮るる灯りかな

慰むることの一つや寒明くる

大吹雪迷子になるな雀ども

紅茶

豆撒くや媪も僧も仲間入りどんだの火吉書逆さに舞い上げ

豆撒いて大雪の鬼払いけり寒椿八重咲き二つほころびし

ブナ林渡りゆく風 春浅し園児待つ仮装豆まき年男

大寒に雨降ることを喜べり朝の茶に眼鏡曇りて寒に入る

寒明けの後の七荒れ昔よりひっそりと一村包む冬の山

朝日さし秋葉雪山かがやきぬ寒霞 袖無し一つぬぎにけり

冬冴えの工場に一つ裸の灯ふと見れば大寒の空澄みにけり

冬の雷寝付きの床を襲い去る襦袢干す合い間に見えし冬日和

水培のヒヤシンス根の真白に湯煙りや梢を濡らす春の雨

溜息も凍てつく朝のシクラメンしんしんと積もる粉雪夜深し

暗い朝ブルドーザーで目が覚める

初孫に雛壇贈り喜ばる

美根

節分会大戸開けば雪飛びつく老い二人追儼の豆を幾粒か

顔深く包み娘の雪おろし頸城野の畦一直線小雪ふる

二ん月の小雪嬉しと立ち話酔い果ての寒九の水は覚水

沈丁の咲きて出稼ぎ峠越す白木瓜や故里小雪の便り来る

春一番飯場をゆるする二日間 在千葉市 鐵堂

日々同じ貌つき合わせぬ炬燵古妻の氣遣うスキー穿て出づ

雪踏みの立ち止まり何考える裸木の芽が紅らみて雪を脱ぐ

雪苦勞消えて安堵の朝寝癖薬打つや戻り寒波に籠りつつ

茶呑み友三人となり日脚伸ぶ雪像の居坐る村の鎮守かな

高鳴れりスキー出番を待つ心 折人

暁闇に鼻尖醒めて氷点下雪つむじ矢庭に帽子ひっさらう

蒲生句会

園芸一口メモ

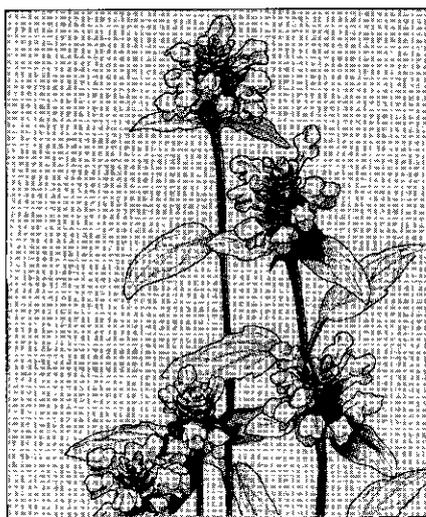
松代園芸愛好会

野に咲く花

ウツボグサ

春に芽を出し、夏が終わると地上部が枯れてしまうので夏枯草の名がある多年草です。

茎は四角形で、下のほうが少し地をはってから立ちあがり、茎の先端に大きな花穂を一個つ



草丈——20~30cm
花期——夏(6~8月)

けます。葉は相対してつき三八センチの長さの細長い楕円形で、その先は円くなっています。昔、矢を入れて腰につけて持ち歩いた「鞆」という道具に似た花穂に赤紫色の小さな花を、夏、穂にそってたくさんつけます。おいしい食べ方は、花を穂のままとり、洗って水気をきって天ぷらに、又はごまみそあえ等です。

薬としての使い方は、全草を尿病、腫れもの等効用があるようです。

《結善正解》
白1とカケツギ、黒2の時、白3のサガリが重要で、白5で黒は押す手なし。

